



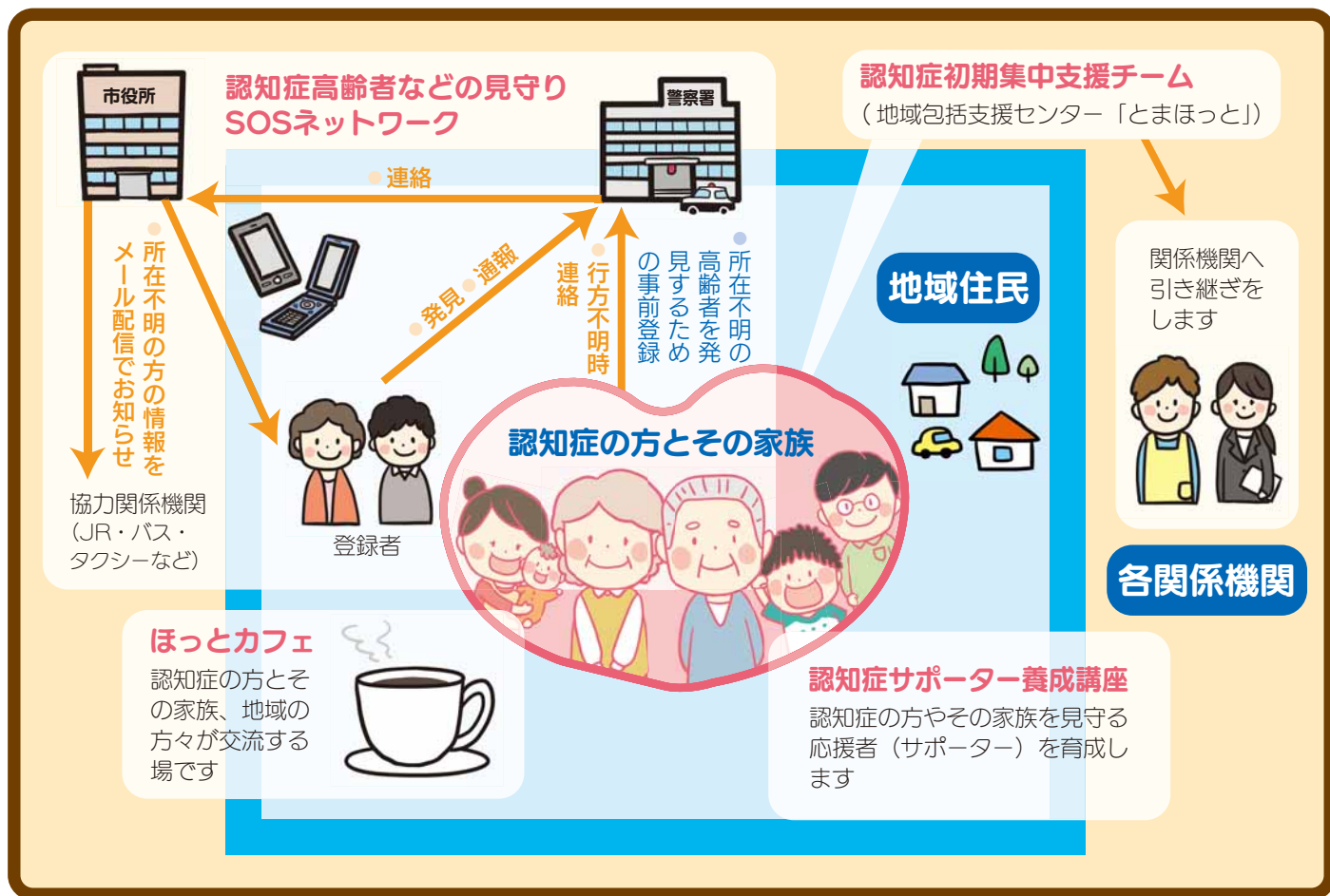
住み慣れたまちで暮らし続けるために

# 地域で支える「認知症」

高齢化が進んでいる日本の65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍といわれ、社会問題となっています。今回の特集では、認知症の方とその家族が住み慣れたまちで暮らし続けられるように、地域で見守りサポートする取り組みを紹介します。皆さん一人一人ができることについて考えてみましょう。

詳 介護福祉課 TEL(32)6347

## 認知症の方とその家族を地域で支える取り組み関連図



**※要介護認定者**  
65歳以上で、介護が必要であると認定された方、あるいは、40歳〜64歳で、特定の病気により、介護が必要と認定された方。

認知症とは、脳の細胞の働きが悪くなるなど、記憶力や判断力などに障がいが出る状態をいい、誰でも発症する可能性があります。  
平成25年度における苫小牧市の現状は、※要介護認定者の約7千人のうち、高齢者で認知機能の低下が認められる方は、約4千人で半数以上となっています。また、高齢者だけではなく、64歳以下の方が若年性認知症を発症するケースがあり、あなたの大切な人もいつ認知症になるかわかりません。

あなたの  
身近な人にも

